

優先度評価結果一覧表

宅地名	通し番	盛土形式	基礎資料整理															現地調査			優先度評価
			盛土造成地の位置			盛土造成地の規模												※2			
			所在地	面積 (m ²)	盛土幅 (m)	距離 (m)	高さ (m)	厚さ (m)	原地盤面の勾配 (°)	公共施設	保全対象		造成年代			※1 変動確率		標準的な盛土・擁壁の形状・構造に適合	変状	地下水	
											住宅	軒数	基準年代	判定	造成年代	算出結果	判定				
平等団地	1	腹付け型	宮城県岩沼市平等三丁目	4,600	98	27.5	9	4.6	18.2	無	有	3	1974	後	1979~1983	32.7	小	適合	無	無	C
	2	谷埋め型	宮城県岩沼市平等二丁目・三丁目・四丁目	68,882	107	325	6.6	4.4	1.2	有	有	85	1974	後	1979~1983	47.5	小	適合	無	無	C
	3	谷埋め型	宮城県岩沼市平等四丁目	14,760	112	55.4	8.2	4.6	8.4	無	有	17	1974	後	1979~1983	44.4	小	適合	無	無	C

※1 点数方式2による変動確率の評価についての考え方は、以下のとおりである。

変動確率が50%以上→変動する可能性が高い→判定【大】
 変動確率が50%以下→変動する可能性が低い→判定【小】

※2 標準的な形状と構造に適合するかは、「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説」p1-76に記載されている以下の項目を元に適合・不適を判別した。

- ・ のり面勾配 : 30度以下であること
- ・ のり面小段間隔 : のり高5m程度ごとに1m~2mの小段が設置されていること
- ・ のり面保護工 : のり面緑地化工もしくはのり面保護工が設置されていること
- ・ ひな壇部分の傾斜 : 緩勾配であること
- ・ 擁壁構造 : 鉄筋コンクリート造、無筋コンクリート造又は間地石練積み造その他の練積み造であること